

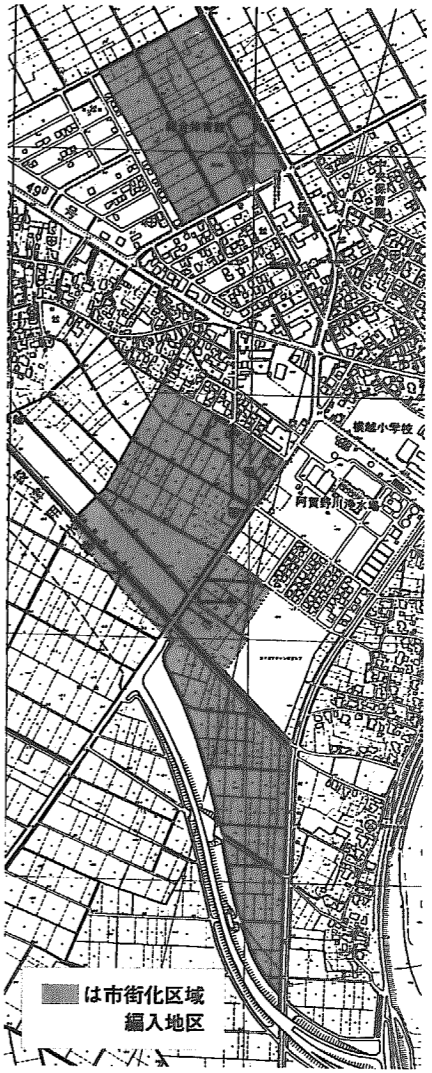
新

しいまちづくりに向けて 市街化区域に編入

平成7年から行ってきた新潟都市計画区域(新潟市周辺11市町で構成)の市街化区域及び市街化調整区域の見直し作業が2

月末にようやく終わりました。これにより町では新たに総合体育館周辺、横雲バイパス周辺の4カ所、31・6ヘクタールが

市街化区域に編入されました。今回編入された地区では、土地区画整理事業や開発行為が計画されており、新しいまちづくりによる町の活性化が大いに期待されます。都市計画に関するお問い合わせは建設企業課まで。



は市街化区域
編入地区

新潟地区広域清掃事務組合 亀田焼却場附属野球場・公園 開設

▼施設概要

・野球場 両翼86m中堅110m、バックネット、ダッグアウト1・3塁側、ナイター照明は無し、サッカー利用可、ゴール有り(成人用、少年用)、グラウンド外周はジョギングコース(460m)
・公園 中央広場(0・06ha)、芝生広場(0・24ha)、コンビネーション遊具、四阿、

ベンチ、水飲み場、公衆トイレ(障害者用有り)

・駐車場 普通車約67台、自転車専用約20台

▼供用開始

野球場：4月23日(日)
公園：4月1日(土)

▼供用期間及び時間

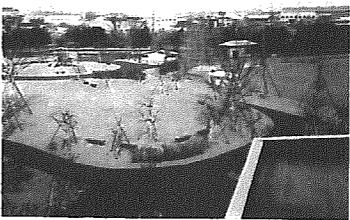
・野球場：4月～11月、午前9時～午後5時、1回の利用は2時間単位、大会の場合は別途。

▼公園：原則として通年

▼利用料 無料

▼利用申込

野球場は、利用月の前月から



左側：公園、右側：野球場

狂犬病予防注射のお知らせ

年に1回の狂犬病予防注射を受けさせないと、法律で罰せられます。愛犬の健康のためにも、必ず予防注射を受けましょう。町では、狂犬病予防集合注射を5月12日(金)に実施します。会場、実施時間については、例年のとおりの予定ですが、詳しくは広報5月号に掲載します。なお、他市町村においても、集合注射が実施されますが、居住している市町村以外の集合注射



は受けることができませんのでご注意ください。

困っています！犬のフン書正しくペットを飼いましょう

最近、犬や猫に関する苦情が多く寄せられています。特に、道路上にフンが放置されたまま、それを踏んで靴や道路が汚れるなどの苦情が増えていきます。ペットを飼う場合は、他の人

管理事務所へ直接または電話申込み。受付時間は午前9時～12時、午後1時～5時。利用申請者が複数の場合は、前月15日締切りで抽選のうえ決定します。なお、16日以降の申込みについては、空いている場合は先着順。利用日が決定してから申請書を

たちに対して迷惑をかけないようにするという責任を負わなければなりません。フンの後始末をしたり、しっかりと網をつけて散歩をさせるなど、きちんとマナーを守って、責任を持って正しくペットを飼いましょう。提出します。

▼問い合わせ

亀田焼却場附属野球場・公園管理事務所 ☎382-1566 (亀田町亀田1835番地1、旧亀田焼却場跡)

ふる里物語 町史編さんだより 65

いよいよ

横越町史発刊



平成2年から編さん事業に取り組んできた『横越町史』資料編と『横越町のむかし語り』がこの4～5月にいよいよ発刊されます。今回は、その内容について、若干の紹介をいたしましょう。

さて、横越の歴史の本といえますと、小林存著『横越村誌』(昭和27年刊)が知られています。古文書などの歴史史料を駆使しながらも、民俗学的アプローチによる独特の語り口で、見事に横越の歴史が描き出されている名著です。

もう一冊、島山鐸治著『わが郷土横越』(昭和26年刊)があります。これは前著とは対照的に、様々な統計的数値や名簿、近代と戦後直後の生活変化について詳述しています。

では、今回の『横越町史』資料編はどのようなものか、その内容を各時代別・分野別に概説してみましょ。

原始・古代

(縄文～平安時代)

考古資料と文献史料があります。横越町には、越後平野で最も古い新砂丘列(藤山・駒込)が存在します。これに伴って、平野部で最も古く、かつ珍しい考古遺物が発掘されています。特に注目されるのは、県外の遠隔地との交流を証明する縄文・弥生時代の遺物群です。最近の横雲バイパスの発掘調査成果(平安時代)も収録しました(第1・2章)。

文献史料では、古代の越後国の変遷が容易に理解できる史料を、日本書紀などから抜粋しました(第3章)。

中世(鎌倉～戦国時代)

横越は、南北朝時代および戦国時代の二度にわたって、戦乱の渦中に巻き込まれています。この中で、中世初期から戦国

近世(江戸時代)

末期までその存在が確認できる『木津氏』は、新津丘陵周辺の豪族に属する氏族で、大字木津と関係があると考えられています。ここでは、主に木津氏の登場する文献史料を中心に掲載しました(第1～3章)。

いわゆる古文書が比較的多く残されている時代ですが、横越町に關係する膨大な古文書が正確に活字化されたのは、今回が初めてです。

横越町内では、年代や大字(旧村)ごとに支配者が異なり、幕末まで複雑な変遷を遂げますが、第1章では新発田藩・沢海藩・旗本など、支配者ごとに史料を掲げました。沢海藩主の手紙もあります。

農民の暮らしにも様々な面があります。従来描かれてきた洪水のイメージとは正反対に、両乞い関係史料には、目の前に阿賀野川がありながらも、土地が高すぎて水不足に悩む村人の姿がうかがえます(第2章)。

このほか、宗教および教育・文化(第3章)では、身近な神社・寺院の史料を掲載し、幕末(第4章)では黒船来航が及ぼした横越の村々への影響や、戊辰戦争に駆り出された農民の姿が記録されています。

近代(明治～昭和20年)

明治維新を迎えたものの、朝令暮改の行政施策、財政難の中の学校設立、地租改正に対する根強い反対運動など、混乱した時代を反映した史料で構成される明治初期(第1章)を経て、第2章では、念願の5か村合併(新横越村誕生)の経緯のほか、各大字の活動の様子を伝える史料も収録しました。

第3章では、養蚕をはじめとする諸産業の勃興、地主制、水害、阿賀野川改修工事などのトピックスの史料を収載し、第4章では、戦時体制下での抑圧された村民生活の様子を伝えます。

現代(戦後～昭和60年頃)

占領軍の見た横越、土地改良、農地改革(第1章)を経て、第2章では、酪農をはじめとした新しい試みが模索された、高度経済成長期から昭和60年ごろまでの農村の姿が、史料を通して描かれます。

民俗

民俗では、主に戦前期を中心に、現在に至るまでのムラの生活の変化を描きました。冒頭に横越町の民俗の概説(第1章)を置き、稲作・漁業

第5章では、横越に生まれた人が、一生のうちに経験する冠婚葬祭を記録し、第6章では、衣・食・住の個別テーマを設定し、それぞれに横越の特色を抽出しています。

第7章では、町内で盛んな神楽舞の紹介を中心に、方言・俗信なども盛り込みました。

なお、横越に伝わる昔話・伝説・民謡については、別冊『横越町のむかし語り』として、5月末ころ刊行されます。このほか、付録として「統計資料」をご用意しました。

膨大な資料の海の中から、横越町だけにスポットライトを浴びせた、世界にただ一冊の『横越町史』です。六千年の歴史を擁した文化の奥座敷横越町ここに郷土に生きた先人の気高いエスプリ(魂)がよみがえります。

『横越町史』通史編は、平成13年度刊行予定です。お問い合わせ先：横越町中央公民館内 横越町史編さん室 ☎385-2043